



多文化のまちづくり グローバルタウン生野



生野区は、区民の5人に1人が外国人住民で、その国籍数は約80か国におよびます。都市部としては日本で最も外国人比率が高く、ものづくり企業と飲食店が盛んなまちです。この特性をいかして、生野区ならではの多様なおもしろさ・やさしさが感じられる新しい国際交流がはじまっています。多くの人々が集まり賑わう地域の拠点を作り上げることをめざしています。

問合せ 区企画総務課 4階46番 ☎06-6715-9003 FAX06-6717-1160

多文化のタネが区内のあちこちで芽吹いています

異和共生のまちづくり

「ことなつたまま、なごやかに、共にいきる」
(関西沖縄文庫主宰 金城 馨氏 提唱)
お互いの壁を取り払うのではなく、互いの壁を支える文化や歴史を尊重し大切にしながら、壁と壁の間で一緒にできる事を少しずつ増やしていこうという考え方で、区政運営を進めています。



多文化共生の地域づくり エリアプログラム事業

北異地域では、生活に身近な場面で相互理解・つながり・交流を生む取組として、外国人住民の方も地域活動の担い手として参加しています。



EXPOいくの万博夜市

2025年大阪・関西万博の開催を控えて、今後たくさんの外国人の方が大阪を訪れます。万博をきっかけとした相互理解や国際交流を促進するためのイベントを実施しており、韓国とベトナムの食を通じて文化や歴史に触れていただく機会となっています。



外国人の方の飲食店営業を支援

イベント受託事業者(株式会社RETOWN)がスタートアッププログラムを企画し、「飲食人(いんしょくじん)」の起業を支援

創業支援を受け、初めて屋台を出店しました。サウジアラビア料理を通じて、私の故郷の文化を日本の皆さんに知っていただきたいと思います。まだ学ぶことは多いですが、美味しい料理を楽しみながら文化の架け橋になりたいです。

11月3日万博夜市出店
アクバーハナさん(サウジアラビア)

